

平成 24 年 9 月 4 日

南の風 15

南部ミニバスケットボール連盟
会長 藤原 敬一

夏休みも終わり、横浜のミニバスも秋季ブロック大会が始まりました。暑い夏休みにしっかり練習や強化試合で鍛えた各チームの健闘を祈ります。

さて、8月21日～24日まで埼玉県で行われた全中（全国中学校バスケットボール大会）について感想を書いてみます。まず、神奈川県代表として横須賀の衣笠中が、見事予選リーグを突破し決勝トーナメントに進出しました。残念ながら決勝トーナメントでは拓南中（愛媛県代表）に敗れましたが、大健闘でした。心から拍手を送ります。

そしてこの大会、男子は大石中（埼玉県代表）の2連覇が掛り、女子は若水中（愛知県代表）の3連覇が掛けていました。結論から書きますと、両チームとも連覇はなりませんでしたが、2年～3年連続で全中の上位に勝ち上がるのは並大抵ではないと思います。ここで男子決勝について書いてみます。西福岡中（福岡県代表）と奥田中（富山県代表）の対戦となりました。西福岡中は準決勝で連覇の掛った大石中に19点差をつけて勝っています。立ち上がり西福岡の14番（180cm）の豪快なドライブインから始まった。続けて4番のスティールからのレイアップ、14番のミドルと連続得点。奥田はタイム後、6番（188cm）のインサイドで初得点、続けて4番の3Pでリズムに乗った。その後一進一退の攻防が続き、前半終了時西福岡26ー25奥田となる。後半は西福岡14番の1対1や3Pが連続して決まりリードする。奥田も6番のインサイドで対抗するが、点差が徐々に開いていく。西福岡の14番の得点は止まらない。奥田も4番の3Pや6番のインサイドでついていくが、西福岡72ー55奥田で試合終了。西福岡が全国優勝に輝いた。（西福岡14番は、36点の大活躍）

西福岡の14番は、180cmのサイズですが、力強いドライブインあり、3Pありと個人技が卓越していました。他にも4番のディフェンスからのスティールなど、個の力の高さが大変目立ちました。奥田の6番は現在188cmの身長です。将来が楽しみな選手です。

一方女子は、何と言っても若水中が注目の的でした。予選リーグの前に若水中の杉浦先生とお話しする機会がありました。（杉浦先生は今年はベンチには入っていませんでした）「今年はまだ、チームが出来上がっていないのです。」と言っておられました。予選リーグでは、白河中央（福島県代表）と大接戦でした。延長戦にもつれ込み、若水67ー64白河中央で若水が予選を突破しました。若水の4番、5番の3Pやジャンプショット、15番（180cm2年生）のインサイドが光りました。白河中央も、5番の3Pやジャンプショット、4、7、8番のジャンプショットやミドルショットが効果的に決まり、大変見応えのある素晴らしいゲームでした。その後、若水中は決勝に進みますが惜しくも五十市中（宮崎県代表）に、44ー47で敗れてしまいます。（五十市中が全国制覇を果たす。）

ここで若水中のディフェンスについて書きます。見ている我々は2ー2ー1のマッチアップゾーンだと思うのですが、杉浦先生はマンツーマンと言っています。兎に角、ボールのある所に必ずディフェンスがいる、という感じで常にプレッシャーを与え続けます。読み、予測、ヘルプ&ローテ、ピンチ&ローテと、5人が機能的に動けるディフェンスで大変勉強になりました。ではまた次号で。